

第120回番組審議会議事録

株式会社エフエムしみず

日 時 平成28年 7月13日(水) 午後1時30分～午後3時00分

場 所 清水マリンターミナル3階会議室

出席委員 角替弘志委員長、望月紀久朗副委員長、河村節子委員、伊藤公一委員、
水野仁志委員

欠席委員 飯田一晴委員、渡辺一弘委員

進 行 1. 開 会
2. 審議番組試聴
3. 質疑・意見
4. 特別番組放送予定、次回審議会予定、その他
5. 閉 会

審議番組 ワープ・ワープ・ワープ(水)

「映画通も脱帽!映画音楽情報番組」 7月6日(水)午後6時～8時

制作担当:鬼塚 大輔

パーソナリティの軽快なおしゃべりとバラエティに富んだ選曲の音楽番組「ワープ・ワープ・ワープ」が、4月の改編で大幅リニューアルしました。新たなパーソナリティを迎え、放送枠も2時間に拡大となっています。

(曜日別ラインナップ)

火	春田哲也	聞いてナットク。クラシック音楽番組。
水	鬼塚大輔	映画通も脱帽!映画音楽情報番組
木	塚本 香	Jazz singer が語る Jazz Story
金	杉山 淳	プロ奏者による吹奏楽番組

※月曜日の同時間帯は「Go Go S-PULSE」を放送

水曜日は、映画評論家の鬼塚大輔さんによる映画音楽満載の2時間です。新旧の大ヒット作から隠れた名作、最新の話作までを映画音楽に乗せて洋邦問わず紹介していきます。

映画好きな方にはたまらない、またそうでない方にも楽しめる2時間となっています。

審議内容

望月委員

どのジャンルの映画にも精通していて幅が広い印象を受けた。半面、まとまりの無い番組になってしまう心配がある。ダイジェスト版を聞いた限りでは、鬼塚さんの主義・主張を感じる事ができなかった。

最近、映画を見ることもDVDを借りて観ることもなくなっているのに、こういった番組を聴いて参考に使いたと思う。

伊藤委員

パーソナリティの鬼塚さんは、色々なことを知っているな、という印象を受けた。

映画評論家にありがちな「この映画はココがいい」「この映画はココに注目」といった押しつけがましき無いぶん、聞きやすかった。

河村委員

軽やかな口調だったが、鬼塚さんはどういった経歴の方なのか？

(佐野取締役) 鬼塚さんは長らく静岡英和学院大学で教鞭を執る傍らで映画雑誌「キネマ旬報」に寄稿されるなどの活動をされていました。今春に静岡英和学院大学を退官され、映画評論家として活動されています。

映画や俳優の紹介も表現力があって分かり易かった。

映画とひと口に云っても、そのジャンルに関心が有るか無いかで聴き方が変わってくるので構成力が求められると思う。

水野委員

映画マニアもさまざまなジャンルに多様化している。特にコーナーを設けていないとのことだが、ジャンルや年代、洋画／邦画などでコーナー分けした方が聴きやすいのではないかと。そういった意味では「TSUTAYA山田店長のイチオシコーナー」は良いと思う。

またあまりマニアックな内容にならないように注意してもらいたい。

(佐野取締役) 水曜日に限らず、「ワープ・ワープ・ワープ」はクラシック・映画音楽・ジャズ・吹奏楽とそれぞれのジャンルの専門性を前面に押し出すコンセプトにした。興味を持ったリスナーに聴いてもらいたいと考えている。

角皆委員長

TSUTAYAさんはスポンサーになっているのか？

(佐野取締役) 清水区内のTSUTAYA 4店舗を運営している(株)ミツハシとはスポンサー契約は結んでいない。しかし、リスナープレゼントを提供していた

だいたり、番組内で紹介するCD/DVDを提供していただいたりしている。また実現していないが、TSUTAYAの店舗内に番組で紹介した作品のコーナーを設置するという話も進めている。

年配の人は青春時代を懐かしむことができ、若い人にも昔の古き良き時代を知ってもらえる番組だとおもう。

毎回のテーマ設定が難しいと思うが、それをクリアすれば人気番組に成長する可能性が広がっていくと思う。

頑張ってください。

次回は、平成28年9月14日（水） 13：30 開催予定

以上